

働く女子の9割が怖いと思う「乳がん」！ 一方で定期検診は4割に満たず…

がん保険に加入する女子の3人に1人は「保障内容を理解していない」！

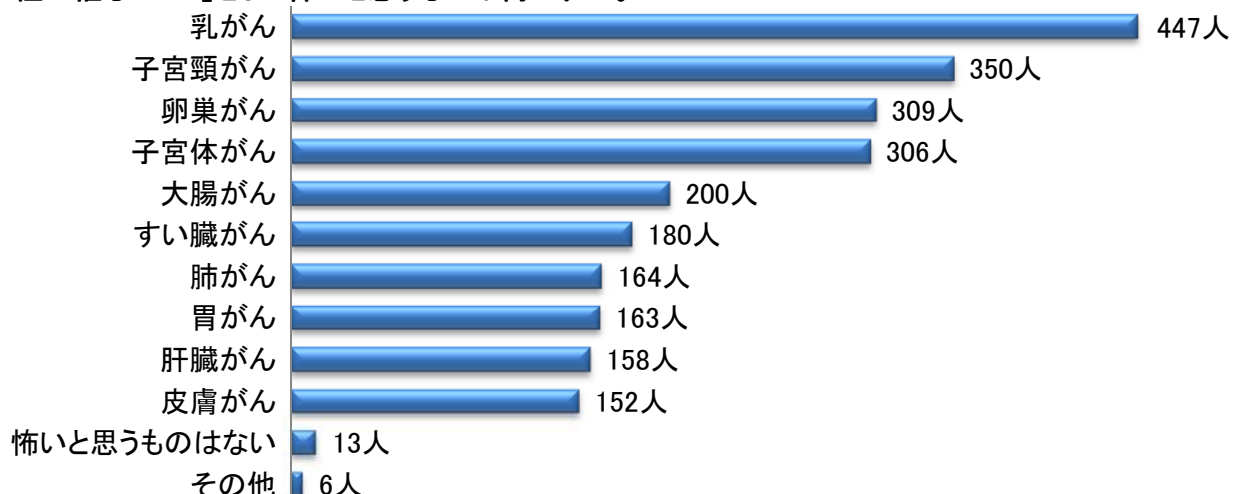
近年、有名人ががんで亡くなったり、罹患したりと、がんまつわるニュースをよく耳にします。現在、日本人の死亡者数第1位、そして2人に1人ががんに罹る時代。検診技術や治療法も確立され、早期発見すれば治る病気とも言われるようになりました。20歳～60歳の働く女性が、がんについてどんな事を考えているのか、『保険クリニック』では500人を対象に女性のがんについてアンケートを実施しました。

【調査結果概要】

- ・20歳～60歳の働く女性500人に聞いたところ、「**話題になっているから」「女性特有のがんだから」という理由から「乳がん・子宮頸がん・卵巣がん」を怖いと思っている人が多いことが分かりました。**(Q1.Q2)
- ・**子宮頸がん・乳がんの検診**を受けているかを聞いたところ、**両方とも定期的に受けているのは28.6%**、乳がんのみの定期検診は8.4%で、合計しても37.0%にとどまりました。(Q3)
- ・自分ががんに「罹ると思う」と回答した人は、「思わない」と回答した人の3倍で、そのうちの80.3%は、身近にがんを経験した人がいることが分かりました。(Q5)
- ・自分ががんになったら、家族に「言う」人が77.6%で、「**治療法等について一緒に考えて欲しい**」と望む人が**多い一方、4人に1人は「いつも通りでよい」**と回答していました。(Q6.Q7)
- ・自分ががんになったら心配なことは、「治療費がいくらになるか」「治せるかどうか」「再発の心配」が多い回答でした。(Q8)
- ・**がん保険に加入している人は、43.4%**にとどまり、そのうちの32.3%は保障内容を「あまり理解していない」「まったく理解していない」と回答しました。(Q9)

【調査結果詳細】

Q1. 女性が罹る「がん」として怖いと思うものは何ですか。



97.4%「がん」は怖い！

20歳～60歳までの働く女性500人にがんは怖いと思うか聞いたところ、97.4%(487人)が怖いと回答しました。怖いと思うがんの場所は、1位は「乳がん」、2位は「子宮頸がん」、3位は「卵巣がん」の順でした。25歳～54歳までは男性よりも女性の方ががんにかかる率が高く、働く女性が多く気になるのも頷けます。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

Q2. Q1 の回答に関して、なぜそう思いましたか。

乳がん・子宮がん・卵巣がん

1. がんは全て怖い
2. 女性特有のがんだから
3. 最近話題になっているから
4. 女性に多いガンだから
5. 身近な人がなったから

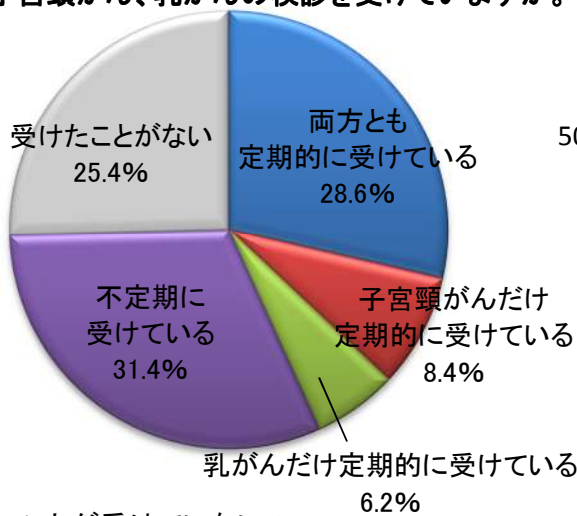
大腸がん

1. がんは全て怖い
2. 女性が罹る割合が高いから
3. 便秘の人が多から
4. 検診に行きづらいから

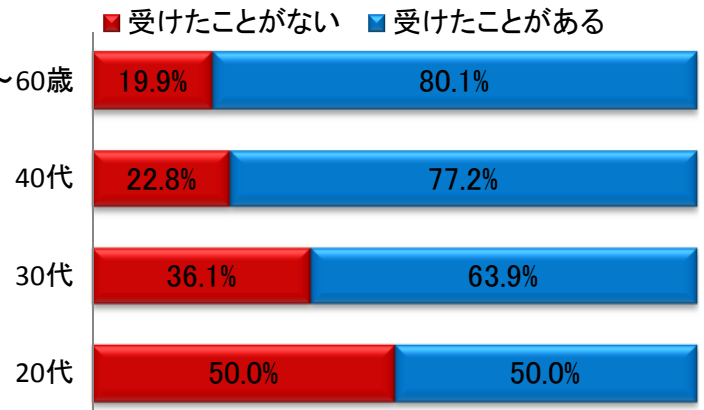
「がん」は全てが怖い！

怖いと思う理由を聞いたところ、一番多かった回答は「がんは全て怖い」でした。回答が多かった部位ごとの理由以外にも、身内や友人が罹患したとの回答も多いことがわかりました。がんはやはり身近な病気としてとらえられているようです。

Q3. 子宮頸がん、乳がんの検診を受けていますか。



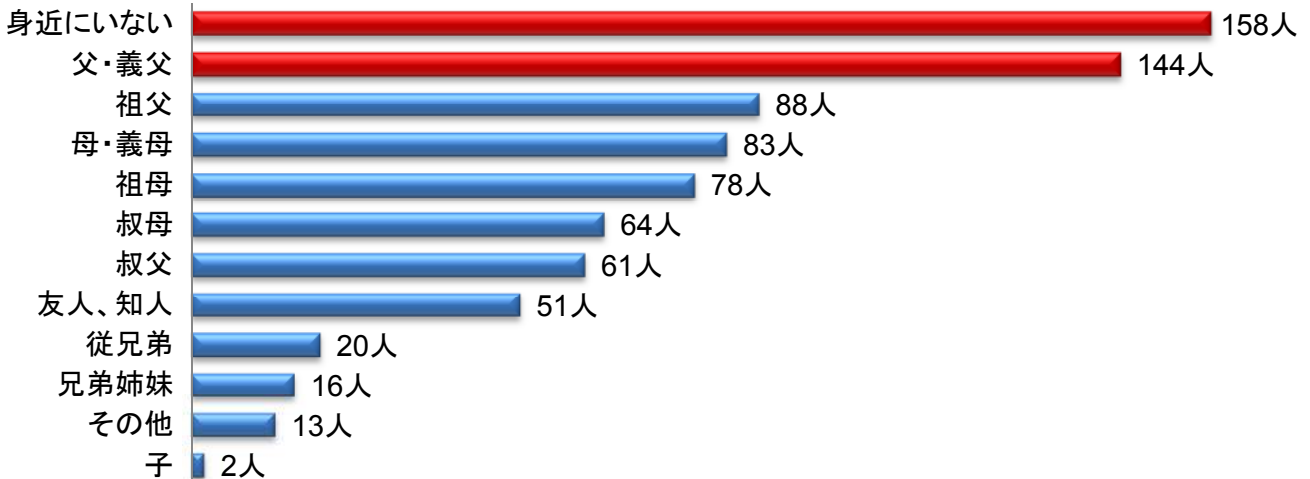
年代別の受診率




4人に1人が受けていない！

子宮頸がん、乳がんの検診を両方とも定期的に受けている人は 28.6%(143 人)とあまり多くない結果になりました。不定期での受診や、どちらかだけ定期的に受けている方が多く、半数近く(46.0%)を占めました。各年代別の受診率を見ると年代ごとに受診率が高くなりますが、30 歳代でも約 3 人に 1 人が受けていないのが現実です。

Q4. 身近に「がん」に罹った人がいますか。



【本件に関するお問い合わせ】
 株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本
 TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

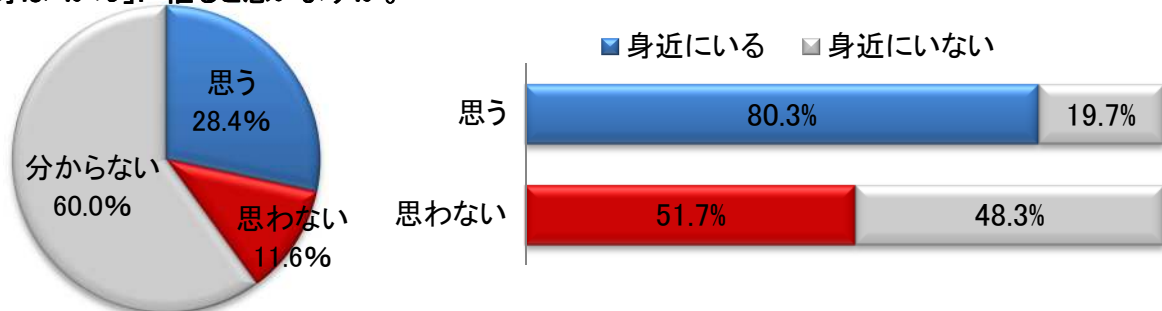
68.4%は身近にいる！

ご自身の身近にがんにかかった人がいるか聞いたところ、68.4%(342 人)いる事が分かりました。その内訳は、

父、義父 : 42.1%
 母、義母 : 24.3%
 友人、知人 : 14.9%

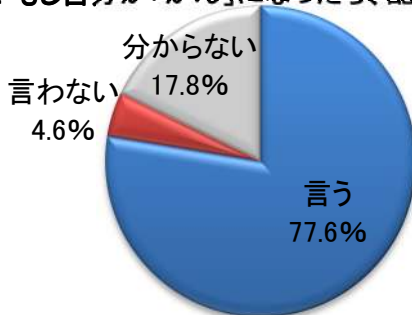
で、中にはご自身と答えた方も 10 人いらっしゃいました。

アンケート回答者でがんにかされた方の年齢は 30 歳代～60 歳代でその内の 60%が現在 30 歳～40 歳代の方です。

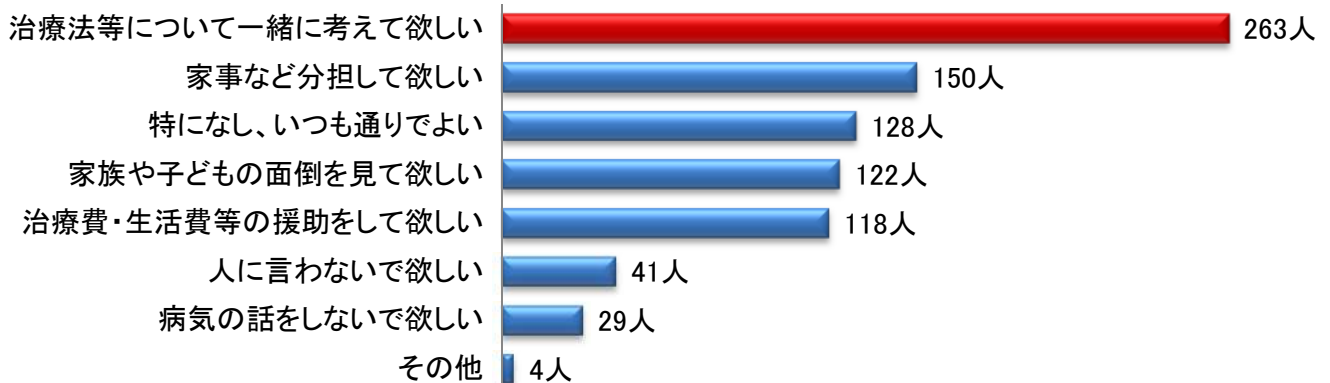
Q5. ご自身は「がん」に罹ると思いますか。**思う人は思わない人の約 3 倍！**

ご自身ががんにかかると思うか聞いたところ、「思う」が 142 人、「思わない」が 58 人と、思わないと回答した人の約 3 倍いる事が分かりました。

「思う」と答えた方の 80%は身近にがんを経験したことがある方がいる事も分かりました。

Q6. もし自分が「がん」になったら、配偶者・パートナー・家族に言いますか。**22.4%は「言わない」「言うか分からない」！**

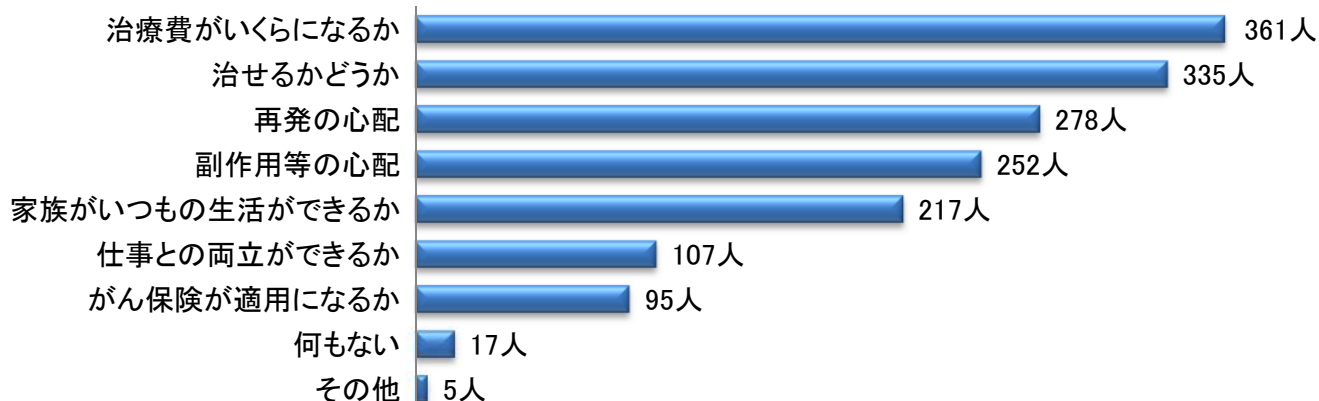
もし自分ががんになったら、配偶者・パートナー・家族に言うか聞いたところ「言う」が 77.6%(388 人)、「言わない」4.6%(23 人)、「わからない」17.8%(89 人)との結果になりました。

Q7. もし自分が「がん」になったら、配偶者・パートナー・家族に何をしてほしいですか。

4人に1人は、「いつも通りでいて欲しい」!

もし自分がかんになったら、配偶者・パートナー・家族にして欲しいことがあるか聞いたところ、「治療法等について一緒に考えて欲しい」、「家事など分担して欲しい」、「特になし、いつも通りでよい」の順となりました。

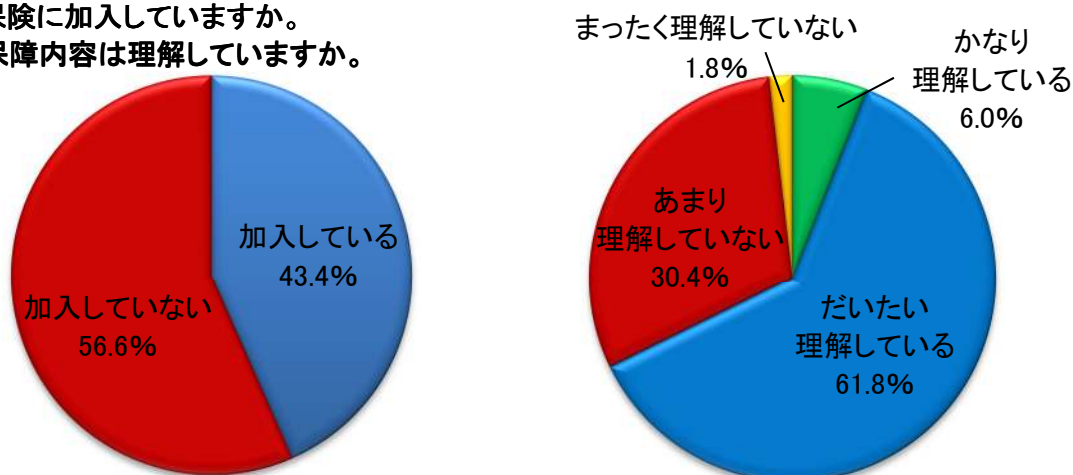
Q8. もし自分が「がん」になったら、心配なことは何ですか。



心配なことは「治療費」と「治るかどうか」!

ご自身ががんになったら、心配なことは何か聞いてみました。1位は「治療費がいくらになるか」、2位は「治せるかどうか」、3位は「再発の心配」となりました。がんには治療の副作用、再発や費用、家族の生活など、がんになったら、様々な面に心配が及ぶようです。

Q9. がん保険に加入していますか。 その保障内容は理解していますか。



20歳から60歳の働く女性500人ががん保険に加入しているか聞いたところ、半数以上が「加入していない」ことが分かりました。また、加入している217人のうちの32.3%(70人)が、加入しているがん保険の保障内容を「あまり理解していない」または「まったく理解していない」ことが分かりました。

【調査方法】

サンプル数 : 働く女性 500 人
 年 齢 : 20 歳～60 歳
 調査方法 : Web アンケート
 調査期間 : 2015 年 11 月 10 日～11 月 13 日
 U R L : <http://www.irrc.co.jp/pdf/press310.pdf>

※本リリースの調査結果や分析をご利用いただく際は、『保険クリニック調べ』と明記ください。